

STOP!

コロナによる 差別・偏見!!



こんなことが起こっています

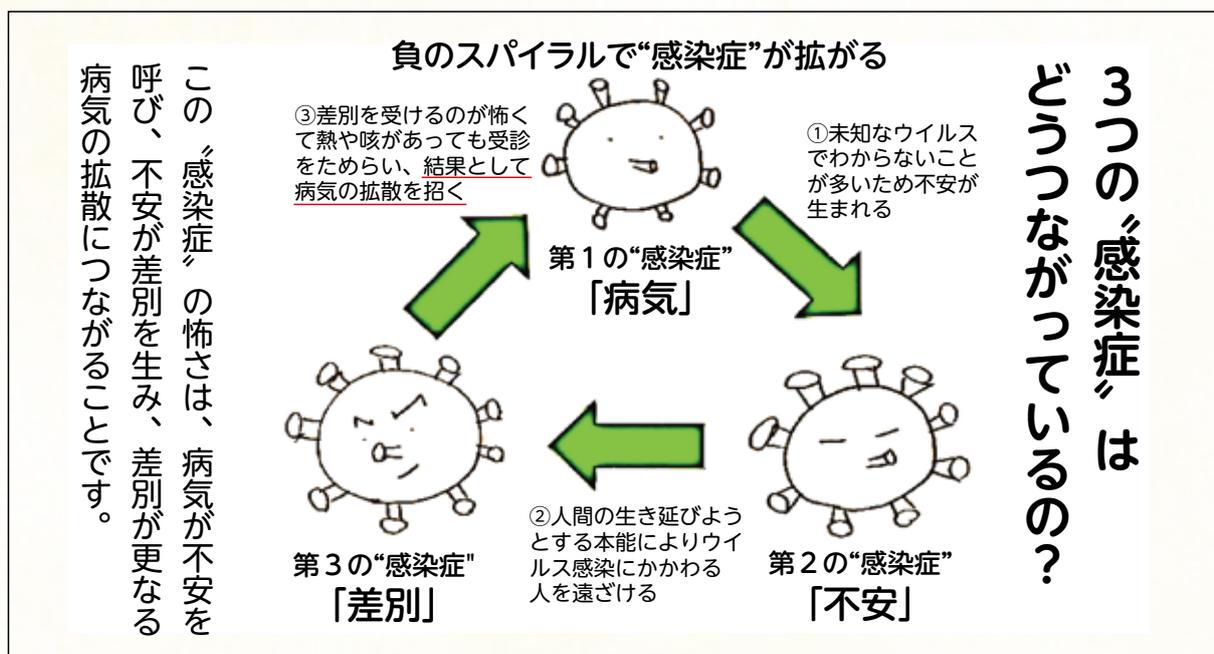


- だれが感染したかという情報をさぐろうとする。
- 感染者や家族の個人のプライバシーに関する情報を無断でインターネット上に流す。
- 憶測や推測で、感染するまでの経緯、その後の経緯を「うわさ」する。
- 「～らしい」という「うわさ」を確かめもせず、あちこちにふりまく。

「みんなに伝えなくては・・・」と思ってしたことが、デマを引き起こし、人権侵害につながります。

新型コロナウイルスが持つ「3つの感染症」という顔

このウイルスが怖いのは、「3つの感染症」という顔があることです。第1の感染症は「病気そのもの」、第2の感染症は「不安と恐れ」、第3の感染症は「嫌悪・偏見・差別」です。下の図のように、この「3つの感染症」はつながっており、負のスパイラル（連鎖）をつくっています。



○ 第1の感染症「病気そのもの」

感染者の飛沫や接触でうつることがわかっています。感染すると、風邪症状や、病気が重くなって肺炎を起こすことがあります。

○ 第2の感染症「不安と恐れ」

このウイルスはわからないことが多いため、強い「不安と恐れ」を感じ、ふりまわされてしまうことがあります。



○ 第3の感染症「嫌悪・偏見・差別」

「不安と恐れ」は、人間の生き延びようとする本能を刺激します。そして、ウイルス感染にかかわる人や対象を偏見・差別し、日常生活から遠ざけることで、つかの間の安心感を得ようとします。



出典：日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」

「3つの感染症」を防ぐために

○ 第1の感染症「病気そのもの」を防ぐために

「手洗い」「咳エチケット」「3密をさける」など、自分のためだけでなく、周りの人のためにもやっていきましょう。



○ 第2の感染症「不安と恐れ」にふりまわされないために

立ち止まって一息入れ、自分の気持ちを落ち着かせたり、悪い情報ばかりに目を向けず、安心できる相手とつながるようにしましょう。



○ 第3の感染症「嫌悪・偏見・差別」を防ぐために

- ・「～らしい」という不確かな情報は、人に伝えないようにしましょう。
- ・差別的な言動には同調しないようにしましょう。
- ・人の気持ちを想像しましょう。
- ・感染を拡げないように頑張っている人々に、ねぎらいや感謝の気持ちを表しましょう。

どれだけ気をつけていてもだれもが感染する可能性はあり、感染者を責めることはできません。恐れるべきはウイルスであり、決して人ではありません。

参考：日本赤十字社「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」

「ただいま」「おかえり」と言いあえる丹波篠山市に

「シトラス リボン プロジェクト」

たとえウイルスに感染しても、だれもが地域で笑顔の暮らしを取りもどせる社会をつくっていこうと、愛媛県で「シトラス リボン プロジェクト」が生まれました。

愛媛特産の柑橘にちなみ、シトラス色（柑橘類の色）の3つの輪のあるリボンを身につけ、感染者が回復してもどってきたときに、「ただいま」「おかえり」の気持ちを表す運動です。3つの輪は、「地域」「家庭」「職場または学校」を表します。

「ただいま」「おかえり」と言いあえる地域なら、安心して検査を受けることができ、感染を防ぐことにつながります。また、感染者への差別や偏見が広がることを防ぐことができます。



Citrus Ribbon
PROJECT

参考：Citrus Ribbon Project（シトラス リボン プロジェクト）ホームページ

相談窓口

新型コロナ感染症に関する人権相談窓口	丹波篠山市 人権推進課	Tel 079-552-6926
みんなの人権110番（法務局 全国共通人権相談ダイヤル）		Tel 0570-003-110
コロナ総合相談窓口	丹波篠山市 市民安全課	Tel 079-552-6053
新型コロナ感染症に関する健康相談窓口	丹波篠山市 健康課	Tel 079-594-1117



【発行】丹波篠山市 人権啓発活動北阪神・丹波地域ネットワーク協議会 令和2年10月

【問い合わせ先】丹波篠山市市民生活部人権推進課 〒669-2397 丹波篠山市北新町41